益子町

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等のICT環境を活用して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るとともに、主体的・対話的で深い学びがより達成できるよう授業改善に取り組むことで、児童生徒自身が学習形態や学習方法を選択し、自分自身の特性や理解度、進度に合わせ学ぶような、児童生徒が中心となった学びの姿を目指す。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度に1人1台端末及び通信ネットワーク環境の整備を行うとともにICTの活用を推進することで、一定の授業改善は図られた。しかし、教員間の意識や知識の差があることや、回線速度が不十分であること、端末のアップデートによる動作遅延等により、多くの学校では未だICTの活用が十分とはいえない状況にある。このため、教員への研修の充実や、十分なネットワーク環境の整備を検討する必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

継続的に端末を利活用できるよう、共同調達により計画的に端末を整備・更新し、ICT環境を維持した上で、以下の点に取り組む。

(1人1台端末の積極的活用)

- ・端末の日常的な利活用に係るICT研修の充実を図り、「1人1台端末を週3回以上活用」する学校の割合を令和7年度末までに100%にすることを目指す。

(個別最適・協働的な学びの充実)

- ・県の「教育DX推進研究校(推進事業)」や国の「リーディングDXスクール事業」をはじめとした端末活用事例の横展開及び活用推進に係る支援を実施するとともに、「児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている」学校の割合を令和8年度末までに80%にすることを目指す。

(学びの保障)

- ・端末の持ち帰りを推奨するとともに、不登校児童生徒への支援や児童生徒の障がいの状況や特性に応じた支援等、端末を活用した学びの保障に係る対応を推進していく。